

公開シンポジウム「植物生理情報のモニタリングと植物生育制御への応用」の開催について

- 1 主 催：日本学術会議農業情報システム学分会、日本生物環境工学会
- 2 日 時：平成19年6月26日（火）13：00～16：00
- 3 場 所：リーガロイヤルホテル堺（大阪府堺市）
- 4 次 第：

開催趣旨

植物の潜在能力を最大限に生かして高品質の植物を効率的に生産するためには、植物の生理生体情報を有効に活用し、生育制御に結びつけることが不可欠である。近年、分析技術および計測技術の進歩により、分子レベルから群落レベルまでの様々な生理情報を取得できるようになりつつある。植物のモニタリング対象は短期的な環境応答から長期的な生長発育まで多岐にわたる。植物生産において、このような植物の生理情報を高度に分析・計測し、その知見を生育制御にフィードバックすることが期待されている。そこで本シンポジウムでは、生理情報モニタリング手法を用いる第一線の研究者との意見交換を通して、今後の植物生育制御の将来展望について議論する。

プログラム

開会挨拶：橋本 康（日本学術会議連携会員、日本生物環境工学会名誉会長）

趣旨説明：後藤英司（千葉大学園芸学部教授、日本学術会議連携会員）

講演

- 1) Rosa Erra-Balsells (University of Buenos Aires 教授、アルゼンチン)
「Soft-Ionization Mass Spectrometry Techniques in Plant Science (植物研究におけるソフトイオン化法質量分析)」
- 2) 高橋秀幸 (東北大学大学院生命科学研究科教授)
「Studies on plant responses to environmental stimuli: Development from spaceflight experiment (植物の環境応答研究：宇宙実験からの展開)」
- 3) 中西友子 (東京大学大学院農学生命科学研究科教授、日本学術会議会員)
「Real-time imaging of water and elements in a living plant (植物中の水・元素動態とイメージング計測)」
- 4) István Farkas (Szent István University 教授、ハンガリー)
「Identification possibilities of plant wellness with the use of image processing (画像解析による植物の生育状態の検出)」

閉会挨拶： 野口 伸（日本学術会議農業情報システム学分会委員長）

参加申込方法

E-mailもしくはFaxにて必要事項（氏名、所属、連絡先電話番号、E-mailアドレス）をご記入の上、以下の問い合わせ先担当宛、お申し込みください。

後藤英司

千葉大学園芸学部 環境調節工学研究室

〒271-8510 千葉県松戸市松戸648

Fax: 047-308-8841 E-mail: goto@faculty.chiba-u.jp

*定員（150名）となり次第、締め切りとさせていただきます。